

古今要覽見稿

草十五

草木部

卅七上

卅七下

和書門	特別
二七七九七	號
第廿五番	函
一七九	冊

内閣文庫	番號	和 27797
	冊數	179 (82)
	函號	特 65 1



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



裏面記載のない箇所は省略
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

古今要覽稿

草木部
つばき三

古今要覽稿卷第

溫故堂文庫

明治十三年

源弘賢著

草木部 椿圖一

椿花品類數種ありといふと花辨と花色を
 形と色の二つを以て名を異にせしむる
 ありとふ世よりありとあり故に種樹家利
 有ありとふ培養の心を以て實地を以て
 異種異花を生じし事殊に要なりとて終る
 奇花とて得たりとて椿花の世に
 あたりとて二百年前より林道春の



百椿圖此序を以て之を終る此序亦扱上り
いふ事あるは花の色花辨も形の三を以て分別
すあるは紅花あるは白花あるは黄あるは
間色あるはいふ事あるはあけくさるは
といふ事あるは紫紅色或は淡紅或は深赤或は淡赤
あるは淡赤の中にも淡の淡なるものあり或は紅
花辨も白點あるものあり或は白花辨より紅點
あるものあり且點の大小ありては辨するは
花辨も單辨重辨八重百重千葉あるものあり百重
十葉あるものあり又花葉あるものあり花辨簇出

す單辨の花は中ふつたものあり出く有る
奇なり花散をいふは只大小の差別と横なり
たは物と豎なり細長きものとある花の太なりは
必し重辨も何れ單辨のものなりあるは千葉
花あるは大なるものあり中花あるは小輪あるは
小輪のものあり單辨の花も多しあるは其銘し
至るまで國々此方言もあるとあるは種樹家よ
梨あるは猶あるは此事も初巻に載する

山崎



同上實



同上
末秋
開く物



同上淡紅乃物



同上八重





金山

霜降

の節

おふし

金山 霜降の節
より
閑



金山
露軒八景



八木椿

下総國八木村の産
開時前年おかし



乙女



比あま



志
甘
み





花戸の梅
冬より開



初冬
香
色

緋車



同上紅色のもの



星車



老松



同老松と呼ぶもの



猩
二



朝
明
里





主のかみ



さかき

か
ら
あ
や



い
ろ
は
な



カ
ミ
錦



小
様



去々玉



花乃木はくし



玉乃木花とす



黄つばき



白くみぎはな



車
々
ろ
加藤伊勢守藤原泰房
所藏百椿圖所載



望宮
上同



寺川
あう
上同



南
来
人
上同



み
な
も
と
上同



京椿
上同



山乃井
上同



越前
上同



越前
上同



實盛
上同



中
上同



かんき
上同



三段花
上同



飛鳥川
上同



雪乃下
上同



ちりめん
上同



赤坂
上同



世あう
上同



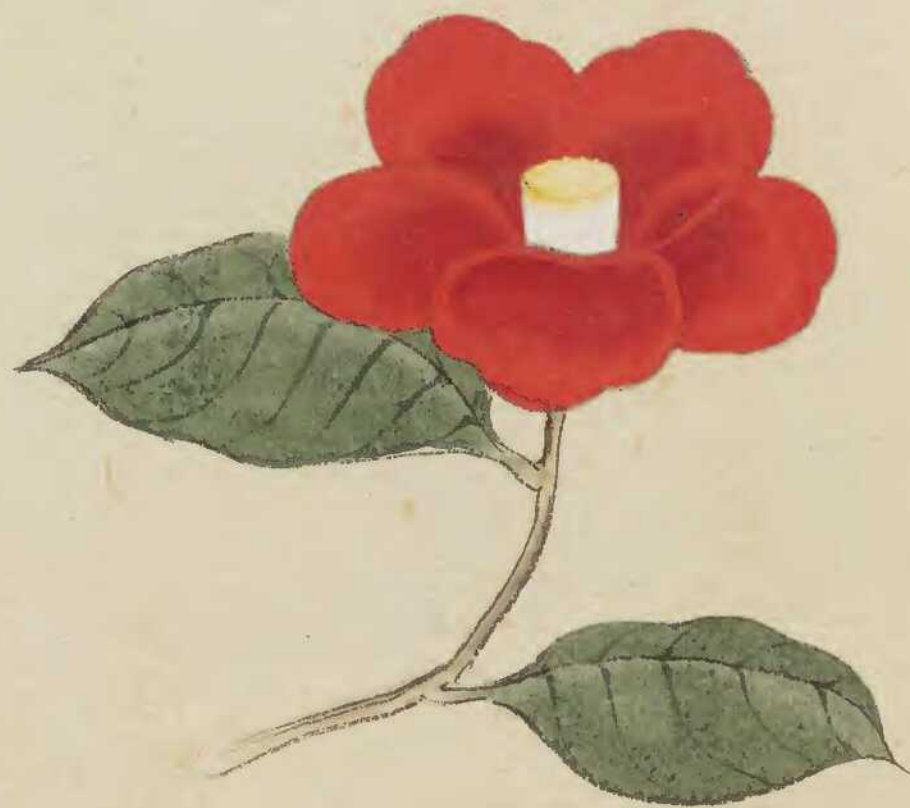
伝濃
上同



山
之
花
木
上同



底
之
花
上同



まゆ紫
上同



さんざん
上同



伊吹
上同



赤
上同



志川
上同



い色
上同



赤人
上同



赤盤
上同



かきみ
の
蘭
上同



織部
上同



大和牡丹
上同



夏うき
上同



淡路島
上同



あふ
上同



不
刑部
上同



な
川
上同



一二
上同



白
上同



北斗
上同



カサヤ腰花
上同



赤
上同



白
上同



南蠻河
上同



休羅河
上同



大里心
同上



白子絞
同上



かき車
上同



土川風志ほり
上同



異國
上同



